



シルバー日向岬

創刊号

平成3年5月15日

編集発行

社団法人
日向市シルバー人材センター

〒883 日向市中町7956-9
TEL (0982) 52-2200

■ 絶壁・柱石・20キロにわたる柱状岩の連続

リアス式の美しい海岸線を一望する日向岬スカイラインは、青い海原とそそり立つ断崖絶壁の大パノラマがみごと。なかでも細島灯台の下「馬ヶ背」は、谷底まで70メートルの断崖、日向灘の荒波と谷底から吹き上げる風に足がすくむほど。海上遊覧船による柱状岩の岬めぐりもまた違った眺め、このあたり一帯は、日豊海岸国定公園です。

創刊にあたり

日向市シルバー人材センター

理事長 和田 助一



かねてから、念願でありました社団法人日向市シルバー人材センターの会報「シルバー日向岬」が創刊されることになりましたことを、会員皆様と共に喜び申しあげます。

本市のシルバー人材センターは、本格的な高齢化社会の到来を迎え、働く意欲と、自己の経験と能力を生かして、社会活動に参加し、自らの生きがいの充実に求め、高齢者に、その意欲と能力に応じた臨時的、短期的な就業の機会確保を図り、併せて、活力ある地域社会づくりと福祉の増進に寄与する目的で、平成元年四月一日に、公益法人として発足し、早くも三年目を迎えることができました。

二年度は、役員の構成替え、組織の充実強化をはかるために

運営研究委員会、就業開拓委員会、会員確保対策委員会を設けて、それぞれに推進してまいりました。

会員は、二〇五名で発足し、二年度末では、三五七名となり業績は、公共事業をはじめ、企業・団体、市民の各方面からのご協力により、初年度に比して約三倍の九〇〇万円に伸ばすことができました。

これは、偏に、会員皆様の、常に変わらぬ誠実で、そして責任感のある仕事の取り組みが、高く評価され、信頼を得た成果であると深く感謝する次第でございます。

今後、人材センターの充実発展を期するためには、就業の場の開拓、安全就労など、運営面での問題解決に取り組んでいかなければなりません。

人手不足といわれている今日社会情勢の変化にともない、仕事の領域が広がっていくことも予想されますので、人材センターの担う役割は、ますます地域社会において、絶対欠くことのできない存在となるものと確信いたします。

会員一人一人が、会員自身の

人材センターであることを再認識し、自主・自立・共働・共助の理念の基に、会員の力を結集して、真に市民に愛され、信頼されるシルバー人材センターとして、常に、仕事の質的变化に対応するための意識改革と、技術の習熟を行うなど、創意と努力をつづけていかなければならないと存じます。

終りに、設立以来今日まで、ご指導、ご協力をいただきました国・県・市ご当局をはじめ、市議会並に関係機関の皆様、心から感謝申しあげますと共に、尚一層のご援助と、ご指導を賜りますようお願い申しあげます。

なお、会報の創刊にあたり、ご苦勞いただきました編集委員の方々に、心からお礼申しあげまして、創刊のごあいさついたします。



発刊を祝して

日向市長

三 樹 博



「シルバー日向岬」の創刊おめでとうございます。

このたび、日向市シルバー人材センターの会員の皆様のご努力によって、会報が発刊されることになりましたことは、誠に同慶にたえません。

シルバー人材センターが、「誠実・親切・丁寧・責任感」をモットーとした会員並に、職員の皆さんの日常不断のご努力と、各事業所の、あたたかいご理解により、「市民に親しまれ、信頼されるセンター」として着実な成果と、前進を遂げられておられますことに対し、心から敬意を表するものであります。

ご承知のとおり、本格的な高齢化社会に即応した、新しい社会的ニーズに応じて設けられた

制度が、シルバー人材センターであります。

このセンターの活動は、高齢者の方々が、「福祉の受け手」から、福祉の担い手」として、その豊富な社会経験や、優れた能力を生かし、そして自己の生きがいの充実と、自ら進んで社会参加を図っていくうえで、大きな意義があり、また大変重要な使命がございます。

今後におきましては、ますます市民からの需要、増大し、大きな期待が寄せられるものと思いますが、スローガンにありますように「生きがいづくり、仲間づくり、健康づくり」のために、センター事業に多くの方が加わり、高齢者の皆さんが、共働共助の精神で、地域社会に貢献していただきますよう、心から念願する次第であります。

おわりに、シルバー人材センターの会報「シルバー日向岬」の創刊を、心からお祝い申しあげますとともに、会員の皆様、並びに関係各位のますますのご健勝と、ご活躍を祈念いたします。ごあいさついたします。

発刊を祝して

日向市議会議長

是 沢 芳 男



会報「シルバー日向岬」の創刊号発刊を心からお喜び申し上げます。

日向市シルバー人材センターは、開設以来三年目を迎え、会員数の拡大、就業率並びに受注契約額ともに、予期以上の成果を挙げておられると仄聞しております。

これもひとえに、会員の皆様方をはじめ、関係各位のご尽力のたまものであり、会員の皆様方の就労に対する市民の、よろしきを得た結果であると、確信するところであります。

役割がますます重要となつていきます。本会報が、情報発信の基礎となり、広く市民に親しまれますことを期待します。

「シルバー日向岬」の

発刊によせて

事務局長 今 村 健 一



原稿を寄せていただいた関係者の皆さん、ほんとうにありがとうございました。編集委員の方々、大変ご苦労さまでした。会報の発刊は、発足当初からの懸案事項でしたので、事務局の喜びもひとしおのものがあります。

会報は、センターの普及啓発上、重要な役割をもつています。今回は七〇〇部印刷して、会員は勿論のこと、事業所、関係機関、九州管内センター等に、お届けすることになっていきます。現在、センターの数は全国で

約五〇〇ヶ所、九州管内で五十ヶ所に及んでいますが、殆んどのセンターが、会報を発行しており、特に九州管内では、相互間で交換し合っています。

日向市は過去二年間、各センターからいただくばかりで、お返しができずに大変心苦しく思っていました。漸やくお返しができるようになり、ホッとしているところです。

また、編集委員さん方の、大変なお骨折りにより、創刊号として、総会に間に合わせる事ができたことについても、心から感謝申しあげています。

会員のひろば

第二の人生

新町・塩見地域 班長

寺 原 正 仁



現役を引退して暇を持て余すものと思っていた矢先、区長を拝命し、遂行中にシルバー人材

センターの発足と同時に、夫婦アベック加入し、お陰で多忙な毎日を過ごすことができるようになった。これは私にとって、第二の人生の出発である。

出会いの中で、自分の健康に自信を持てる人の、意外に少ないのに考えさせられることが、屢々である。私は幸い、丈夫な体で仲間入りができ、自分の好きな事務経験を生かし、人材センターからの、農業センサス統計調査や、国勢調査員、或る時は、理事会の研修旅行、又は、センター幹旋で入所した、訓練校管理科の同期生による小旅行更に、植木剪定班の技能講習会等々、楽しく忙しい毎日、ストレス解消もでき、月日の過ぎるのが将に矢の如しの感がする。同じ世代を歩んできた者同志なので、気も合い、話も通じるのだらう。旅行の宿泊先で、刻の過ぎるのも忘れて、語り明かしたこともある。故に、戦争の怖さ惨めさ、そして命の尊さが身に沁みて分かるのは、共通の過去があるからだ。

シルバー人材センターに入会してから、良き先輩や、友人が大勢できたこと、これは、人生

の大切な宝なので、大事に、はぐくんでいきたいものだ。

この平和な時代を築いてくれた、先祖と、又健康な体に生んでくれた両親に、心から感謝している。私も、人のお役に立ちたいと、役員を引受け、シルバー事務局のご苦勞に、少しでも手助けができたらと、常日頃思っている。

シルバー人材センターに加入して、人と人との輪がいかにか切か、そして楽しいものなのかこれから二十一世紀に向けて急速に進む高齢化社会に対応するため、シルバー人材センターの存在と、素晴らしさを訴えながら、益々の事業の発展を望むものである。

シルバー人材センターの一員として

財光寺D地域班

那 須 フジミ



平成元年三月二日、日向市総合福祉センターの会議室で、日向市シルバー人材センターの、設立総会がひらかれ、私も参加しました。

四月から早速、シルバー人材センターの方から、電話がかかって来るようになり、除草や、ガラスふき、掃除など、方方に行きました。知らないところは前日、下見に行くこともありました。

夏の暑い日には、汗いっぱいかいて何の事かと思う時もありました。終って、発注者にきれいになったと、喜ばれると、何となく気分もよくなり、疲れもどこかへとんで行きます。又今まで会ったこともない人と、仕事の間で知り合い、友達とすることが出来るのも一つの収穫です。

最近の人は、六十才をこえても、まだ若々しくて、仕事もやる気、満々の人がたくさんいるように見えます。現在、人手不足の声を聞きますが、私達シルバーが、頑張つてその一端でもなうことが出来て、人手不足の解消に役立てたらと思います。

シルバー人材センターに入会して

細島地域 班長

甲 斐 ハツ子



入会して一年半になります。その間、除草、雑役、掃除と行かせていただき、発注者の方々の喜び、多少の不安をいただきながら行ったものでした。

感謝される度に、自信を得て生甲斐を感じセンターの会員である事を、ほこりに感じております。又、班長会、研修会に参加して、事務局職員の根強さ、熱意、温情、陰の力の偉大さを知る事が出来て、入会した喜びにうれしく思っています。

皆様の御苦勞に感謝して、シルバー人材センターを構成する一人として、今後共、積極的に協力して行こうと思えます。

高齢化社会の現在、働くことのすばらしさは、最大の幸福とも言えるのです。大きく、黄色

く咲く花、太陽に向って強く咲くひまわりこそ、シルバーセンターだと思えます。これからも多くの人との親睦、交流を交えて、老後を明るく、生々と楽しく生きて行きたいと思えます。ため息は 命をけずる

カンナかな

センターに入会して

思うこと

日知屋枝郷A地域班

小 川 フクミ



道具も使わずにしまっておくと錆びついて使えなくなる。人間もまったく同じではないでしょうか。私も三年前、子供達と同じ居することになり、家事一切を譲つて、楽隠居ときめこんだのですが、どうも早く老化しそうで、これではいけない。何か良い事はないだろうかと思つて、たところが、平成二年の四月、主人が友人の紹介で、シルバー

人材センターに入会。

私もどんなところかわからないながらも、喜びも悲しみも共に、一ヶ月遅れて入会した。

昨年の夏はまれにみる炎天続きでしたが、暑さにもめげず除草などに汗を流し、一生懸命働いたあとの気持ち良さ。

センターは、都合がわるい時や、具合が悪い時はもちろん、自分に合わない仕事は、おことわりしてもよいので、束縛されずとてもやりやすい。それに健康である限り定年がない。

また月に一度年金以外の収入が、預金通帳に振り込まれてくるのも、一つの喜びである。

センターのお陰で、多くのひとのふれあいに溢れた、素晴らしい第二の人生を送っています。

働くよろこび

美々津地域班

中村 和子



私が、シルバー人材センター

にお世話になる様になったのは知人から話を聞いた事がきっかけとなり入会することが出来ました。

昨年の六月、永寿園の話があり早速仕事をいただく様になりました。八名の人が四組で、二名づつのローテーションで、月に八日ぐらいになります。内容は掃除と洗濯補助の仕事で、最初は大変でした。何をすることも人と人のつながりで、仕事の流れで行くのですから、一日、一日を私なりに頑張りましたが

気ばかりあせて手のほうは思う様にはいかなく、一時はどうしようかたど迷った事もありました。皆さん方のお陰で仕事を続けさせていただき、日を重ねる度にだんだんと手も馴れてきました、頑張る気になりました。お陰で健康にも恵まれ残り少なくなつた人生をたのしく、生き甲斐のある仕事に感謝しながら今では園の方や、老人の方々とともに、ふれあいをもち働くよろこびを感じています。

体の続く限りつづけさせていきたいと思います。居ります。人と人との和こそ大切だと思いつつ、仕事に励んで居ります。

発注者の声

シルバー人材センターの役割を知って

梶木町 江藤 豊一



民生委員を委嘱されて二年目になります。多方面にわたる内容の役割も、どうにか理解出来たこの頃です。中でも、一人暮らしの老人の生活状態の把握と、各機関への連絡等は、常に気の安らげない責任を感じる毎日です。

二月の事でした。強風の為に納屋の一部が破損したと、一人暮らしの老人から連絡がありました。行って見ますと、素人では手の付け様もない状態でした。色々と思案した揚句、福祉事務所に連絡をとったところ、シルバー人材センターに依頼する事になりました。早速センターから来ていただき、見積りをして

もらいましたところ、予想外の安値で引受けられ、家にある古材を利用して修理をしてもらいました。私達の素人では、四五日もかかって、その上出来あがりも不十分だろうに、二人の方が、一日で完全に仕上げてくださいました。そのうえ、労賃は本職人の半分ですみ、老人暮らしの生計からは、何よりもありがたい事でした。

「今夜からはぐっすり眠れます。」と大喜びでお礼を言われる老人以上に、私は民生委員の役割の一端が果せた思いで、感謝致しました。

其の後、私宅もセンターに依頼しました。それは擁壁の上に煉瓦を積み上げる作業でした。気になりながらも、三年もそのまま放っていた作業でした。中途半端な作業だったのに、気持ちよく引受けて下さり、材料の煉瓦やセメント等の購入からすべての準備もしていただき、一日半で仕上げして下さいましたが本職勝負の仕上がりの良さに近所から見に來られた方々も、感心しておられました。

私宅では、この場所に苺を植える計画でいますが、いまから

孫達が楽しんで、苺摘みをする様子が想像できて、夢をふくらませていきます。

今後は、多くの方々に、センターの役割を理解してもらい、センターの方々の誠意と技術の良さをも広め、協力していきたいと思っています。

発注者の声

宮崎絨氈株式会社

取締役部長

金丸 俊明



当社は、女性が主人公で、男性は脇役の立場（段取り役）での職場です。その平均年齢は、女性四十四才、男性三十四才です。男性は七名で二十才〜四十才ですが回りは女性が多く女性型の職場です。

その中で、若手の男性ではなくに飽きるし、女性では、無理な仕事があり困っておりました。一昨年四月頃、シルバー人材セ

ンターの存在を耳にし、その足でセンターに駆け付け、構成等を聞き、その場で二名も御願いする事にいたしました。我々民間レベルでは、正に死活問題とも言える労働力の確保が、この二名の入社により、新たな職場づくりの土壌が出来た事は、言う迄ありません。

その後一人、二人と増え、現在七名（男）の会員様より、お世話になっております。家庭に於いては、核家族が取り沙汰されている現在、やはりお年寄りを大切にする気持ちを忘れず、又更に増える人達の働らせる職場が、当然必要になると思われ

ます。

私共の職場では、お蔭様で雰囲気非常に良くなりました。お互いが、毎日の仕事に追いつくられ、余裕の無い状態で、ギクシヤクしていた事が、クツシヨンが出来た事により、大変助かっております。休息中ある人は、人生訓を話し、又ある人は現役中の体験談を話してくれ

ます。

先日社内、アイデアを募りました。一人の会員さんが、節電、コストダウンの案を提出

いたしました。マンネリ化している職場では、仲々思いついても実行しない事が多いのですが、そのアイデアは委員会でも採用決定し近日中に実行する予定です。当社の今年度のテーマは「夢」です。豊かさの時代、ゆとりある生活を望み、楽しい職場づくりを目指している我々にとつてシルバー人材センターは、今後不可欠な組織である事は、誰しもが認める事ですし、会員一人一人の皆様が、健康に留意され、各職場に於て、存分に能力を発揮される事を、願うところでございます。

会員の講習会

家事援助 介護サービス講習会に参加して

財光寺D地域班

椎葉 ハツノ



平成三年一月二十二日、宮崎市総合福祉センターに於て、「家事援助、介護サービス」の講習会が実施され、センターから二十四名が参加しました。

会員といっても今迄違った分野で活動されている人達で、戸惑いと遠慮がちでしたが、途中新富の入浴が効を奏して、急速に暑しみが湧き、車内が和やかな雰囲気になりました。

目的の講習会は、広島市シルバー人材センターのビデオを通じて「身体に障害のある方」「一人住まいの家庭訪問」同じ年齢の人達が、生々と明るく行動する姿を見て、一瞬、私にも出来るだろうかと、不安が頭をかすめました。

講師 栗栖須美子さんの行動力・指導に、会員の皆様が同じ目標に向って、努力されている様子を垣間見る事が出来、「流石」先進地の感を一層強くしました。

今福祉問題、特に高齢化社会が、新聞、雑誌、テレビを通じて「老」の字が目につかない日はない。私達には好むと、好まざると、必ず老は、静かに忍び寄って来ます。

やがて日向市でも実施されるであろう家事援助、介護サービス、この時こそ私の総仕上げとして参加出来たらと意を強くした一日でした。「自分がやってみらって嬉しい事を相手にもしてあげる」私は、この言葉を大切に、明るく楽しく生きたいと思えます。

先進地視察に

ついて



日知屋本郷B地域 班長
安藤 稔

和田理事長以下十五名(内職員三名)は、一月二十三日午前中は、高松市シルバー人材センター、午後は、仲善広域シルバー人材センターを訪れ、センターの運営について色々勉強させて貰いました。

高松市のセンターは、市の人口三十三万人中、六十才以上が

六万人で、入会者は八百二十六名と、入会率全国平均の一・八%を下回りますが、契約高は元年度で、約二億一千万円と、立派な実績をあげていました。一方、仲善広域センターは、田園都市型の普通寺市を中核とした、一市四町からなるまとまった広域センターで、総人口は約七万五千人中、六十才以上が一万六千人で、入会者は、九百八十九人と、五・八%の高い入会率を示し、女性会員が男性会員より多く、会員同志が自主的な複数就業で、常に共働共助に努め、融和を図り就業の成果も地域外からの発注も多く、昨年十一月末で、二億八千九百万円という素晴らしい実績を示しており、会員のいつも変らぬ誠実な就業姿勢が、皆さんから高く評価され信頼されているとのことと、センターの基本である自主自立共働共助の必要性を、強く感じさせられました。



役員交流研修会に

出席して



財光寺A地域 班長
笹原 亨

平成三年二月二十六日、荒尾市シルバー人材センターに、十三時三十分到着しました。会議室に案内されると、理事長さん以下、理事、班長さんの方々が待っておられました。理事長さんの歓迎のご挨拶に引き続き荒尾市の現況報告があり、次に、日向市の今村局長から、日向市の設立から現状までの報告があり、質疑応答に入りました。

荒尾市が今、問題になっているリサイクル事業に踏み切って各地区のPTA、老人クラブとセンターが一体になって、市の事業に協力して、実績を上げつつあるとのことでした。

この件については、日向市でも、研究して実行に移す時期に来ていると思います。

もう一つは事故防止の一環として「声かけ」運動をやっていることでした。役員も会員も仕事に行く人には、「事故には充分気をつけて下さい」とひと声かけることによって少しでも、事故を防ぐことに努力している。以上二つの点に特に気がついたことではありますが、やはり班長さん達がこの研修会で、それぞれ感じたことを、会員の方々に伝えることによって、研修の目的が果されると思います。予算の許す範囲で、今後とも計画実施されることを希望します。

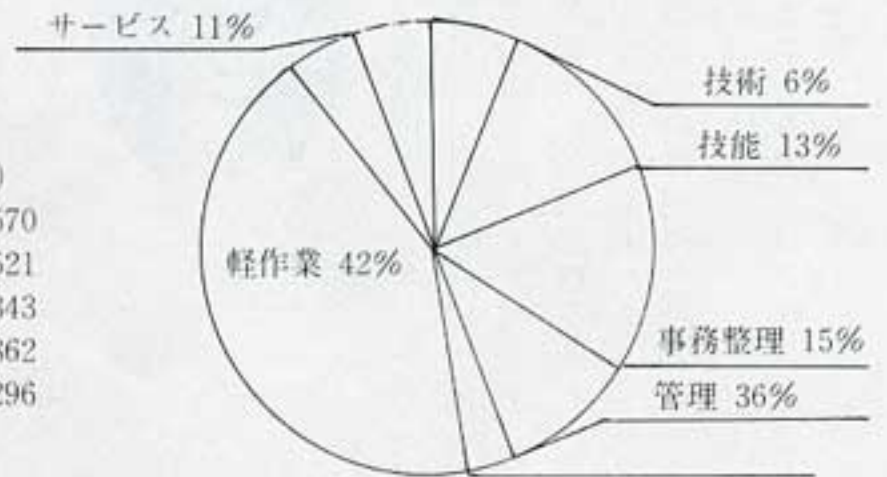


平成元年度 契約金額内訳



希望職種

(平成3年3月会員アンケート調査による)

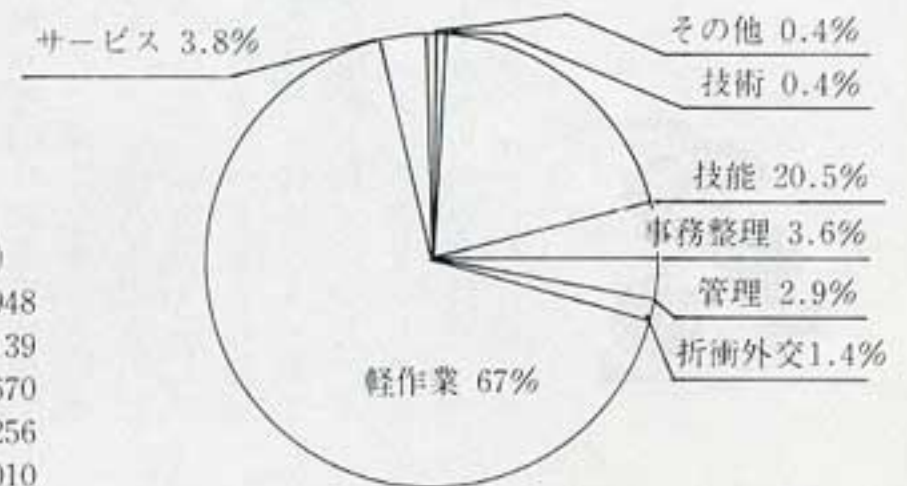


平成2年度 契約金額内訳



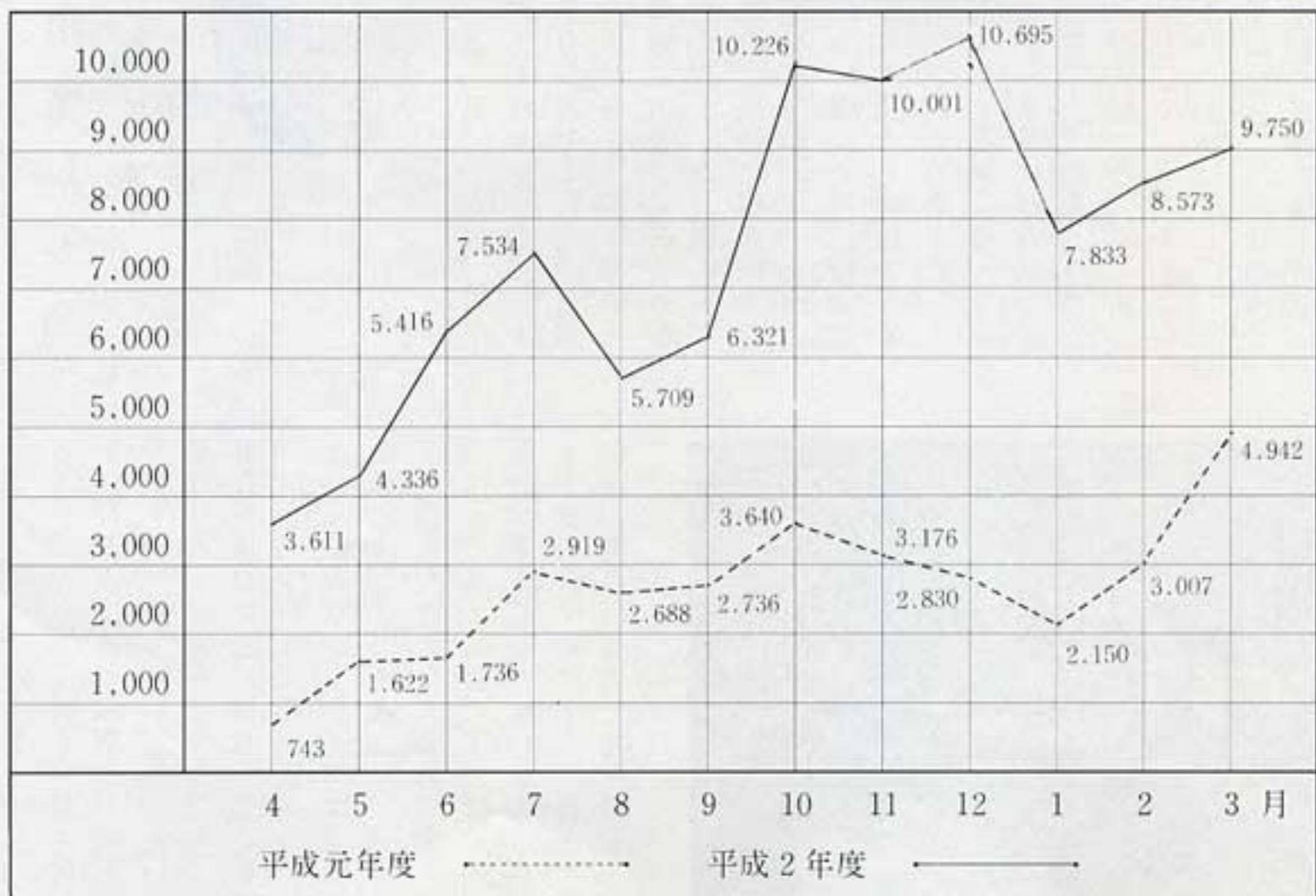
平成2年度 事業実績

(職種別)



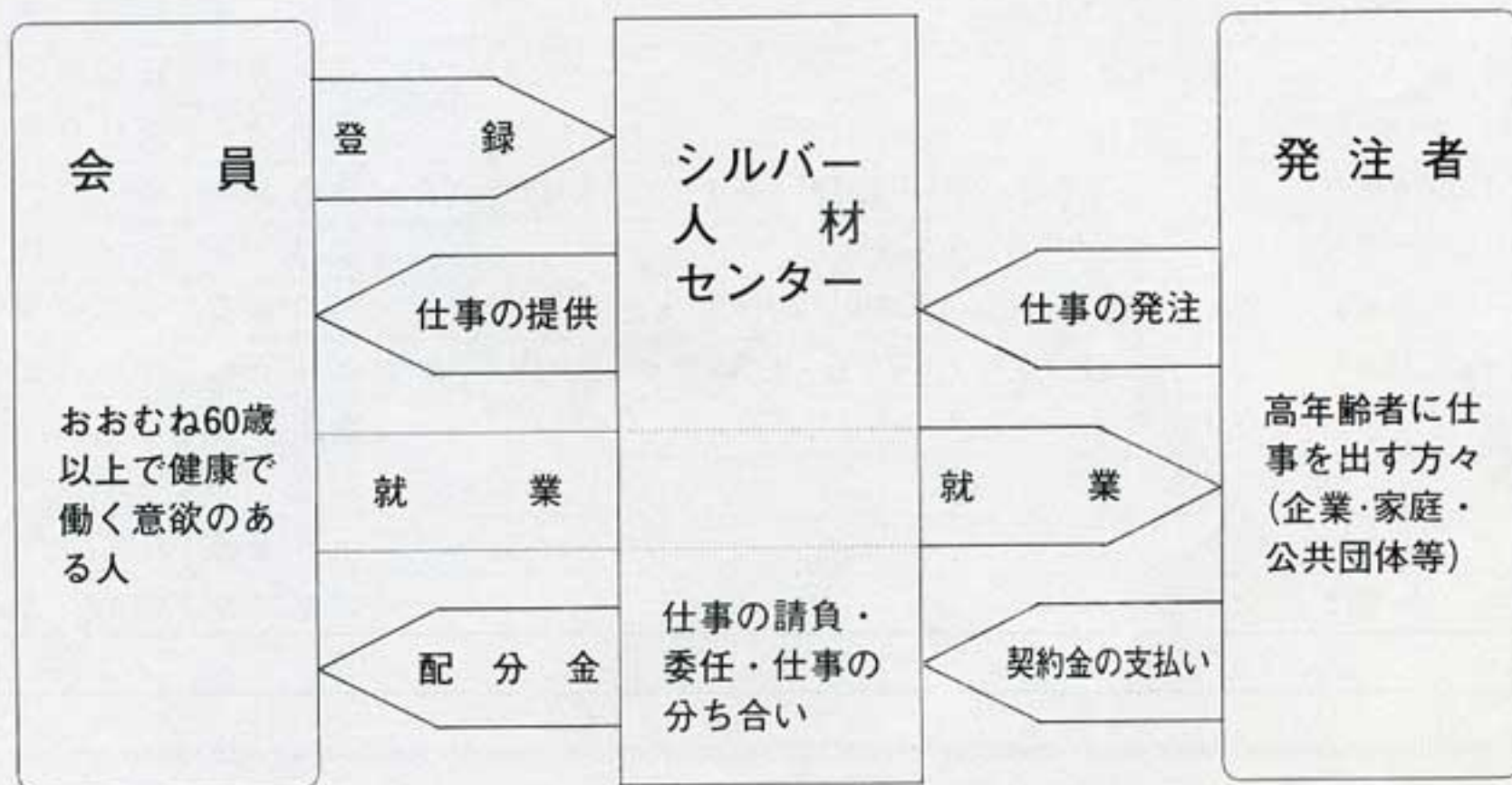
平成元年度・平成2年度 事業実績調査

(単位:千円)



センターの仕組み

シルバー人材センターは、臨時的・短期的な仕事を、企業・家庭・公共団体等から有償で引き受け、これを会員に提供し、仕事の内容と就業の実績に応じて報酬(配分金)を支払います。また、臨時的・短期的な雇用による就業を希望する高齢者のために無料の職業紹介も行います。



(社) 日向市シルバー人材センター役員名簿

役職名	氏名	住所	役職名	氏名	住所
理事長	和田助一	日向市助役	理事	黒木勝	宮崎県造園緑地協会日向支部長
副理事長	林賢太郎	日向地区退職者の会会長	理事	山下泰彦	日向市建設課長
常務理事	今村健一	日向市シルバー人材センター事務局長	理事	甲斐勝	日向市福祉事務所長
理事	星野孝	日向商工会議所専務	理事	寺原正仁	新町・塩見地域班長
理事	河野稔	日向市老人クラブ連合会々長	理事	安藤稔	日知屋本郷B地域班長
理事	黒木文雄	日向市区長・公民館長連合会総務部長	理事	森岡健二	財光寺D地域班長
理事	村口美好	日向市社会福祉協議会会長	理事	新名格	平岩地域班長
理事	板谷慎吉	日向地区労働顧問	監事	河野昭一	日向市信用組合理事長
理事	高橋彰一郎	日向地区同盟事務局長	監事	田中昭二郎	日向市収入役
理事	黒木覚市	日向市議会文教厚生委員会委員長			

(社) 日向市シルバー人材センター地域班組織図

地域名	会員数	構成地区名	班長氏名	副班長氏名
新町・塩見	19	新町・塩見	寺原正仁	鈴木忠男
富高	37	中央・東草場・西草場・本谷・西川内・中原・高見橋通り・春原・広見	河野利秋	村矢光雄
財光寺A	15	山下・長江	笹原亨	平塚哲
財光寺B	15	比良・川路	治田恵	井上繁
財光寺C	27	往還・松原	黒木利光	岩切秋子
財光寺D	18	切島山1,2・秋山・向洋台	森岡健二	島村助男
日知屋本郷A	18	上,下原町・高砂・永江町・新生町・公園通り・江良	重成初美	染川石男
日知屋本郷B	27	堀一方・曾根・畑浦	安藤稔	平田勝
日知屋枝郷A	26	鶴町・亀崎東・亀崎中・向江町・大王谷	谷口義春	小川政男
日知屋枝郷B	22	日向台・北町1・花ヶ丘・庄手・梶木・迎洋園・不動寺	藤田辰巳	岡田万寿江
細島	12		甲斐ハツ子	児玉シカノ
平岩	6		新名格	一政久男
幸脇	20		土谷豪盛	村山スミ子
美々津	25		河埜坦	村中久三郎
計	287			

切絵は、誰にでも作れる素晴らしい、伝統的な創作芸術です。紙をカッターナイフで切り、さまざまな線と、さまざまな面の組み合わせによって、独特な雰囲気をかもし出す切絵の世界は、古くて新しい、美術のジャンルと



財光寺C地域班
福田能明

趣味の紹介



趣味の紹介

いえません。切絵のイメージを一口にいうと、素朴な郷愁とでもいいたいでしょうか、そこに、不思議な魅力がひそんでいるように思います。直線に切った線の力強さ、あるいは、曲線に切ったときの柔らかい暖かさなど、さまざまな綾なす線と、面の一つ一つが、序々に完成に近づくときの喜びは、制作した人ならではの楽しみです。私が、切絵を始めて五年ですが、今では、更に創意工夫をこらし、自分で自分なりの着色を考え、自分の線を見出し切ると、心がけています。

最近、あらゆるものに、手作りのよさが見直されていますが切絵は、味合い深く、しかも奥行きのある、素晴らしい伝統的な手作りの一つだと思います。中国には、老青春オウチンシュンという言葉があり、これは、老後を癡刺オウチンシュンと生きるという意味の、美しい言葉だそうですが、私も趣味を生かして、余生を老青春で頑張りたいと思っています。



シルバー人材センター会員の就業モットー

誠実

親切

丁寧

責任



事業主やご家庭の皆様へ!!

どんな仕事でも
お気軽にお電話下さい。



たとえば会員は、
庭木のせん定、消
毒、大工、庭の清
掃、草刈、草取、
宛名書、賞状書、
家事手伝いなどの
仕事をしています。

日向市シルバー人材センター
TEL 52-2200

会員募集中



只今、会員募集中!!

元気で、働く意欲があり、特に、大工・左官・塗装・
襖及び障子張・除草(刈払機操作)、剪定等の技能経験の
ある方をご存知の方はご紹介下さい。

わがまちの自慢

事務局長

今村 健一

日向市の自慢を次のとおり紹
介します。

一、名所

(1) 日向岬。柱状岩の「馬ヶ
背」は、福井県の「東尋坊」に
勝るとも劣らないといわれてい
ます。

(2) サーフ場。金ヶ浜海岸は
四季を通じてサーフィンが楽し
める、九州屈指の海岸であると
関係者の評価を得ています。

(3) 磯釣り。黒潮あらい日豊
海岸は、いたるところ、釣りの
ポイントばかりです。

(4) 妙国寺庭園。六〇〇年の
歴史をもつ庭園です。鹿児島
の「磯庭園」、熊本の「水前寺公園」
に並ぶ、九州三大名園の一つと
庭園改修を担当された、南九州
大学造園学科、元教授先生の評
価をいただいています。

二、史跡

(1) 黒田の家臣。文久二年四
月、京都伏見の船宿「寺田屋」で
発生した、薩摩藩士を中心とし

た、全国各地の勤皇の志士による、倒幕運動計画(世にいう寺田屋事変)の際に捕えられ、船で薩摩に護送される途中斬殺された、勤皇の志士三人の墓が、細島の小島にあります。

(2) 西南の役細島官軍基地。日向延岡地区は、西南の役、最後の激戦地といわれています。東京鎮台迫田少佐以下の官軍将兵、警視庁警察官、軍夫など二八一名が埋葬されている墓が細島の小高い丘にあります。

寺田屋事変、西南の役、共にNHKドラマ、「翔ぶが如く」で放映されました。

三、名産
(1) 平兵衛酢、(2) はまぐり料理外磯料理、(3) はまぐり碁石

(4) 美々津手漉き和紙。

四、行事
(1) 十五夜祭、(2) 細島港祭
(3) ひよっとこ夏祭

事務職員紹介

○事務局長 今村 健一

「石の上にも三年」の年に入りました。試行錯誤、日々新たな挑戦の毎日です。



江藤 佐 藤 藤 前田 今村 兵頭 出口

○業務係長 (四月一日発令)

兵頭 幸一

体力が勝負のシルバー。ソフト、バレーで鍛えた私に任せて下さい。業務担当です。

○業務主任 (四月一日発令)

江藤 日出夫

事務局に入って二年目になりました。頭をフル回転させて頑張っています。会員の皆さん、ヨロシク。

○業務担当 出口 美由紀

シルバー職員として二年目突入。女らしさより逞しさが増してきました。頑張ります

○庶務担当 前田 和久

主に会計・経理の仕事をしています。会員の皆さんと楽しくやっていきたいです。

○庶務担当 佐藤 暢子

三月一日に入り、まだわからない事ばかりですけど、どうぞよろしく願います。

事務局からのお願い

作業日報は、契約金の請求及び配分金計算の基礎となる大切なものです。

作業日報の提出が遅れますと定められた配分金支払日に支給できなくなりますので、短期就業の場合は、仕事が終わったその日、または翌日に、継続就業の場合には、翌月三日までに提出するように、努めて下さい。

編集後記

発足三年目を迎えたのを期に創刊された、日向市シルバー人材センター会報は、「シルバー日向岬」と名づけられました。天然の良港と、豊かな水資源に恵まれた日向市は、東に大平洋の黒潮をのぞみ、西に入郷地帯の豊かな緑につつまれた、人情味あふれる町です。

日向岬には表紙写真のとおり北陸の東尋坊に勝る、絶景の「馬ヶ背」があります。日向岬、これこそ私達シルバーに、希望と安らぎをあたえてくれる、ふさわしい紙名だと思います。

創刊号編集にあたり、原稿をお願いした方々には、御協力を賜り感謝いたします。心から御礼申し上げます。不慣れな編集委員で満足のいただけるものはありませんが、皆様に親しまれ、読んで貰える魅力ある広報紙づくりに、努力していきたいと思っております。今後とも御支援と御協力をお願いします。

編集委員

森岡 健二・治田 恵

榎葉ハツノ

事務局職員

今村 健一・兵頭 幸一

出口美由紀

▼会員逝去のお知らせ

黒木 実様 (61才)

財光寺C地域班

平成三年三月二十二日

永眠されました。

心よりお悔み申し上げます。ご冥福をお祈りいたします。